

# 令和7年度 第1回 長崎県公共事業評価監視委員会

## 再評価対象事業

道維-2 道路改築事業  
市道相川町四杖町1号線ほか4線

事業主体 長崎市

再評価の理由 再評価後変更(事業費・工期)



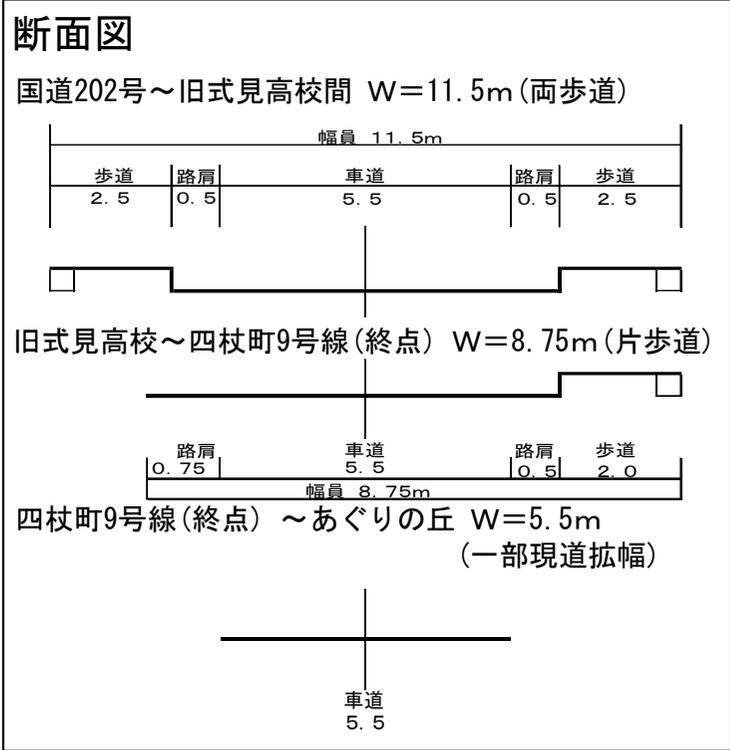
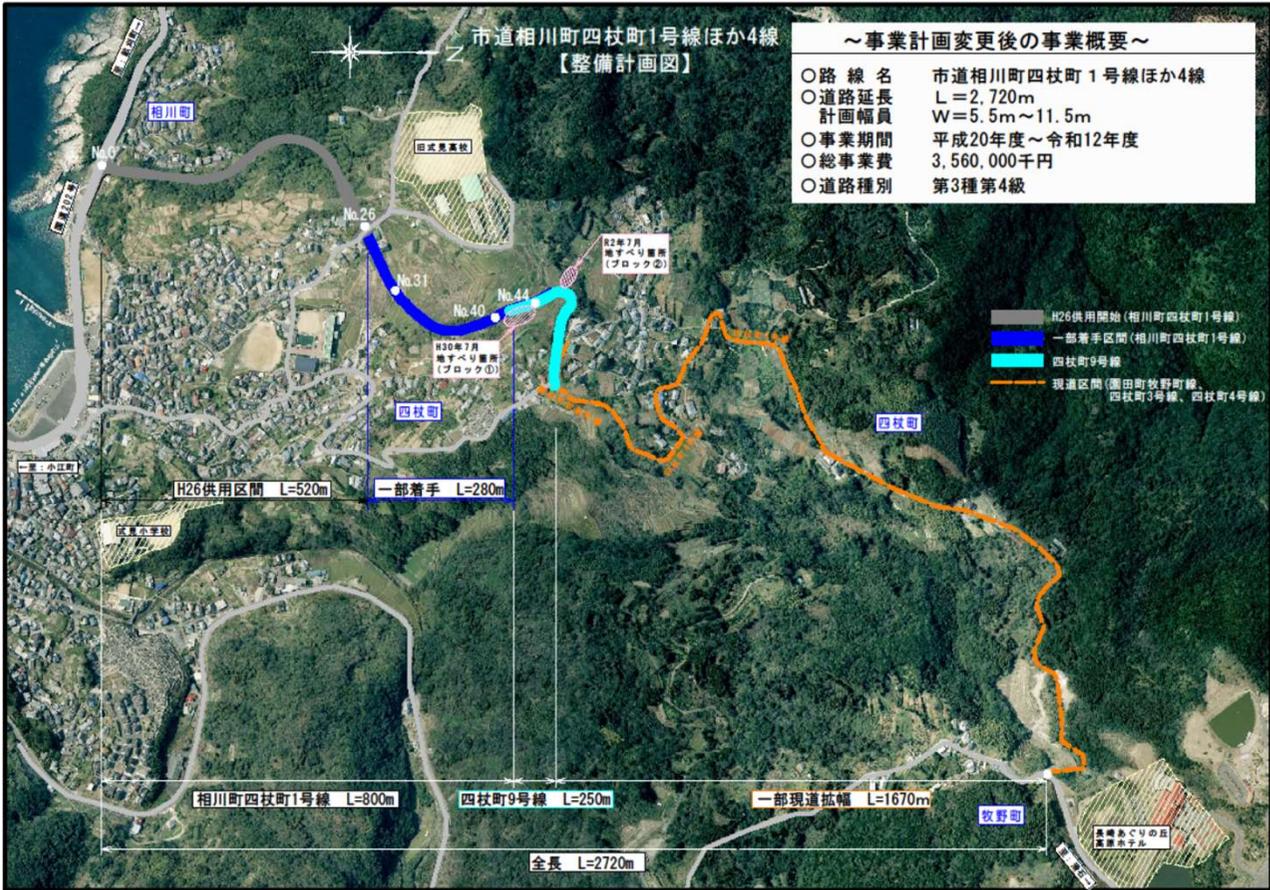
# 1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	概要
		着工	完了			
当初 (H20新規)	—	H20	R5	35.0	1.17	延長=2.5km 幅員=8.75~11.5m
第1回審議 (H30年度)	事業採択後 10年経過	H20	R5	35.0	1.11	延長=2.5km 幅員=8.75~11.5m
第2回審議 (R5年度)	再評価後 5年経過	H20	R7	29.6	1.03	延長=2.72km 幅員=8.75~11.5m (一部現道拡幅)
第3回審議 (R7年度)	再評価後変更 (事業費・工期)	H20	R12	35.6	1.31	延長=2.72km 幅員=5.5~11.5m (一部現道拡幅)

# 2. 目的・事業概要・これまでの経緯

## 事業概要

目的：交通の利便性、通学路の確保、及び地区の活性化を図るとともに、市西部地区の補助幹線道路としての役割を果たす。



- OR7年度事業計画
- ・延 長：2,720m
  - ・幅 員：5.5m～11.5m (一部現道拡幅)
  - ・種 別：第3種第4級

### 3. 事業の効果・必要性

- 四杖町地区は狭隘な道路で構成されており、自動車の離合が困難で、線形も悪いため円滑な通行が確保されていない。
- 歩道もなく、歩行者の安全が確保されていない。
- 災害発生時の救急車両の通行が困難になることが懸念される。
- 国道202号から『長崎市あぐりの丘』付近の市道園田町牧野町1号線へ連絡し、アクセス性の向上を図ることで交通の利便性、地区の活性化に寄与する。
- 旧町(外海町・琴海町)と市西部地区の環状的な道路としての役割を担い、本市の幹線道路網の一部を形成する。

# 4. 事業の進捗状況

## 相川町四杖町 1号線ほか 4線

【事業期間】 R7 (前回) → R12 (今回)

【変更理由】

- ・一部用地にて相続人が多数いることから、交渉が難航しており、用地買収に時間を要している。
- ・既に供用開始している区間の法面において、R3年度に地すべりの兆候が見られ、その調査設計及び対策工事に時間を要していることから、事業期間の変更をするもの。



◆用地取得率(面積ベース)

93.0%(前回)→87.0%(面積見直し後)

※買収用地を見直したことにより進捗率が減となる。

◆事業進捗率(事業費ベース)

87.6%(前回)→95.0%(R6末)

## 5. 社会経済情勢等の変化

### あぐりの丘 長崎歌謡館

- ・あぐりの丘に新たな施設「長崎歌謡館」がオープンし、「ながさきの歌」に関するレコードやスラップブックなどを展示している。



### あぐりドーム(全天候型子ども遊戯施設)

- ・悪天候時でも室内で子どもが遊ぶことができる屋内遊戯施設として、令和4年10月28日に「あぐりドーム」の名称で開館し、令和6年4月29日時点で20万人の来場者数を記録している。



## 6. 地元等の意向

### 式見地区連合自治会定例会

- ・毎年、式見地区連合自治会定例会において、本路線の進捗状況を説明しているが、地元からは早期完成を強く要望されている。

## 7. 事業の投資効果

### ◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和5年度)	今回評価 (令和7年度)
残事業	9.68 = 34.64億円 / 3.58億円	9.20 = 72.34億円 / 7.86億円
全事業	1.03 = 43.48億円 / 42.22億円	1.31 = 72.34億円 / 55.22億円

#### [費用]

- ・道路整備に要する事業費(工事費、用地費)、道路維持管理に要する費用

#### [便益]

- ・走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益

#### [プラス要因]

- ・競合路線の見直し
- ・費用便益分析マニュアルの改訂

#### [マイナス要因]

- ・工期の延長【地すべり対策工事の追加、用地解決の遅延】
- ・一部区間の設計速度低下

### ◆ B/Cでは計測できない効果

- ・災害発生時の救急車両の通行が困難であるが、整備されることで緊急時のアクセス向上が図られる。

## 7. 対応方針(原案)

- 国道202号から『長崎市あぐりの丘』付近の市道園田町牧野町1号線へ連絡し、アクセス性の向上を図ることで交通の利便性、地区の活性化に寄与する。
- 旧町(外海町・琴海町)と市西部地区の環状的な道路としての役割を担い、本市の幹線道路網の一部を形成する。
- 用地買収が難航し、本線の工事に遅れが出ているものの、現道の幅員が車両の離合ができないほど狭隘な道路であり、地元からも早期完成を要望されている。

